

辻, 岸田, 1972]。

9. *Libnetis granicollis* (Kiesenwetter, 1879) コクロハナボタル

Kiesenwetter が *Eros* 属で記載 (Deutsch. Ent. Zeitsch. 23:305, 1879)。中根博士による図説ならびに解説があり (1953, 1963, 1984), 松田, 佐藤両氏も原色で図説された (1985)。分布は日本全土である。兵庫県下にも広く分布していると考えられるが記録は思った程されていない。

産地: 神戸市藍那 (lex., 14:VII-1978)。神崎郡大河内町川上 (3exs., 15-VII-1977, 2exs., 23-VII-1977)。朝来郡須留ヶ峰 (lex., 31-V-1975, M. Yuma leg.)。宍粟郡音水 (lex., 15-VII-1973)。水上郡〔山本, 1958〕。養父郡氷の山 (2exs., 27-VII-1956, 2exs., 21-VII-1958)。美方郡扇ノ山〔辻, 岸田, 1972〕。

(JAN. 1986.)

宝塚大橋のカメムシ

新 家 勝

I. はじめに

1978, 9. 新装成った宝塚大橋の電燈に飛来する蛾の採集を始めた頃, 甲虫, カメムシなどの各種昆虫もこの電燈に多数飛来した。著名なヨコヅナツチカメムシが採れることやオオホシカメムシの多いことに驚いた。蛾だけでなく, これらの昆虫も一通り採集することにしたところ, カメムシは二十余種に達し, その中には結構興味深いものもあるので, 報告させていただく。今回の報告は 1978. 9~1985. 12 間とし, 「宝塚市」は省略して記載する。

II. 報告内容

1. Cydnidae ツチカメムシ科

(1) *Adrisa magna* Uhler ヨコヅナツチカメムシ

V, 29, 1979 武庫川町

VI, 3, 1979 武庫川町

IV, 27, 1983 武庫川町

IV, 27, 1983 南口 2 丁目

かつては稀種といわれたカメムシであるが、そう珍しいものではなく、ここでは普通種である。一度に飛来する数は、そう多くはなく、1・2頭であるが、4・5月頃、度々、出現する。特に多かったのはⅣ, 27, 1983で5頭を捕獲した。内、通行人に踏み殺されていた2頭を標本にし、他の3頭は宝塚ファミリーランド内へ逃がしてやった。

(2) *Macrocytus fraterculus* Horváth

Ⅷ, 9, 1979 武庫川町 コツチカメムシ

付近の美座2丁目、自宅の電燈に飛来したものをⅧ, 7, 1979に採集している。

2. Pentatomidae カメムシ科

(1) *Scotinophara lurida* Burmeister クロカメムシ

Ⅷ, 8, 1979 南口2丁目

付近の武庫川河川敷にいる。約2Km下流の末広町の石下からⅤ, 18, 1978に採集している。

(2) *Scotinoprara horvathi* Distant オオクロカメムシ

Ⅷ, 10, 1979 南口2丁目

(3) *Halyomorpha brevis* Walker クサギカメムシ

Ⅷ, 10, 1979 武庫川町

どこにでも多いカメムシであり、ここでもよくみかけられる。

(4) *Nezara antennata* Scott アオクサカメムシ

Ⅶ, 27, 1979 武庫川町

Ⅷ, 9, 1979 //

ここでも非常に多いカメムシであり、匂いは最も強い。筆者は無類のカメムシ好きなので、この匂いがたまらない芳香に感じられ、みつけると捕まえてその匂いを嗅いでみることにしている。

(5) *Plautia crossata* Dallas チャバネアオカメムシ

X, 19, 1978 南口2丁目

V, 6, 1979 南口2丁目

ここでは最も多いカメムシであり、発生時期には大群が飛来する。

(6) *Glaucias subpunctatus* Walker ツヤアオカメムシ

X, 2, 1978 南口2丁目

V, 10, 1979 武庫川町

X, 21, 1979 //

アオクサカメムシ同様、非常に多いカメムシである。

3. *Acanthosmatidae* ツノカメムシ科
- (1) *Sastragala esakii* Hasegawa エサキモンキツノカメムシ
VII, 18, 1983 武庫川町
- (2) *Dichobothrium nubilum* Dallas アオモンカメムシ
IX, 25, 1979 南口2丁目
4. *Urostylidae* クスギカメムシ科
- (1) *Urostylis westwoodi* Scott クスギカメムシ
X, 3, 1983 南口2丁目
次種に混じって1頭だけ採集した。
- (2) *Urostylis annulicornis* Scott ヘラクスギカメムシ
X, 3, 1983 南口2丁目
20頭余が橋の手摺りや路上にいた。余り見かけないカメムシなので、安全な所へ逃がしてやるため生虫管に入れて持ち帰ったが、自らの発散物質のため大半が死んでいた。
1984年にもこの時期に飛来した。
5. *Coreidae* ヘリカメムシ科
- (1) *Homoeocerus unipunctatus* Thunberg ホシハラビロヘリカメムシ
IX, 8, 1979 武庫川町
- (2) *Anacanthocoris striicornis* Scott オオクモヘリカメムシ
X, 12, 1978 武庫川町
X, 12, 1978 南口2丁目
小数ではあるが、ほぼ毎年、10・11月に飛来する。
- (3) *Acanthocoris sordidus* Thunberg オオズキカメムシ
V, 23, 1979 武庫川町
約2Km下流の美座2丁目、自宅のホオズキに毎年、群棲する。
- (4) *Cletus trigenus* Thunberg ホソハリカメムシ
V, 31, 1979 武庫川町
- (5) *Riptortus clavatus* Thunberg ホソヘリカメムシ
XI, 7, 1979 武庫川町
春から秋にかけてよく飛来する。
6. *Lygaeidae* ナガカメムシ科
- (1) *Pachybrachius lateralis* Scott キベリヒョウタンナガカメムシ
VIII, 29, 1982 武庫川町

(2) *Rhyparochromus albomaculatus* Scott モンシロナガカメムシ
IX, 29, 1979 南口2丁目

(3) *Lethaeus assamensis* Distant オオチャイロナガカメムシ
VII, 19, 1983 武庫川町
VII, 6, 1985 //

7. *Largidae* オオホシカメムシ科

(1) *Physopelta gutta* Burmeister オオホシカメムシ
IX, 27, 1978 武庫川町
IX, 28, 1978 南口2丁目

5月中旬から出現し、11月中旬まで極めて多数飛来する。一晩に飛来する数ではチャパネアオカメムシに劣るが、年間を通じて飛来する数は、むしろ多いと思われる。普通種であるが、他の場所では余り見かけない。ここでは数が多いことで注目されるカメムシであるが、他の昆虫同様、年々減少している。1983, 10, 3, の19:30~20:00までの間、ここに飛来した本種を片端から捕獲したところ37頭を数えた。付近に群棲地があることが考えられるが、未確認であり、ここでの食草は確認していない。

(2) *Physopelta cincticollis* Stål ヒメホシカメムシ
VIII, 3, 1979 武庫川町
VIII, 10, 1979 //

前種同様、春から晩秋まで飛来するが、遙かに少ない。

(3) *Pyrhocoris tibialis* Stål フタモンホシカメムシ
VIII, 24, 1983 南口2丁目
VII, 10, 1984 //

附近の武庫川河川敷の雑草間に普通であり、XI, 18, 1978に約2Km下流の末広町の石下から採集している。

8. *Reduviidae* サシガメ科

(1) *Oncocephalus philippinus* Lethierry トビイロサシガメ
V, 29, 1979 武庫川町

附近の武庫川河川敷の石下に普通であり、XI, 18, 1978に約2Km下流の末広町の石下から採集している。

(2) *Oncocephalus breviscutum* Reute クロトビサシガメ
IX, 14, 1982 武庫川町
IX, 6, 1984 //

最近の図鑑には記載されていないが、僅かに加藤正世著 分類原色日本昆虫図鑑(昭和8年12月16日発行, 厚生閣)に *Oncocephalus* Sp. クロトビサングメとの記載があるのみであり、本誌に記載の学名は、高橋寿郎氏にご教示いただいたものである。同氏ご所蔵の甲南高等学校博物研究会会誌“博物研究”No.3, ページ14~15(1938)によれば、谷口和義氏(現在の黒佐和義博士)が次の通り採集または確認しておられる。

1♂, IX, 23, 1936 武庫郡本山村(谷口和義氏採集)

1♂, XII, 11, 1937 “ (“)

1♀, XII, 16, 1937 “ (“)

1♀, XII, 17, 1938 六甲山麓土橋(“)

1♀, I, 18, 1938(死体)摩耶山麓高雄(“)

2EX. 武庫郡山田村箕谷産

1EX. 川辺郡神津村軍行橋附近産(福貴正三氏採集)

以上の記録によると、当時、県下の東部でかなり採集されていたことになるが、その後の公開記録はないようであり、今回は44年ぶりの記録になるものと思われる。

(3) *Pirates turpis* Walker クロモンサングメ

VII, 4, 1983 南口2丁目

素手で捕えた際、刺されてしまった。電撃のようなサングメの痛覚を初めて味わった。

(4) *Sirthenea flavipes* Stål キイロサングメ

V, 20, 1983 武庫川町

(5) *Velinus nodipes* Uhler ヤニサングメ

VII, 7, 1985 南口2丁目

(6) *Polididus armatissimus* Stal トゲサングメ

VIII, 20, 1983 南口2丁目

本種は、日本昆虫図鑑(1950年, 北隆館発行)や前記の分類原色日本昆虫図鑑に記載されているが、最近の図鑑には記載されていないようである。高橋寿郎氏にご教示いただいたところによると、1965年に、出石郡但東町中野で高橋 匡氏が採集された記録があるとのことであり、今回は県下の公開記録としては2番目になると思われる。

III. まとめ

1978年9月から7年間、宝塚大橋の電燈で採集したカメムシは、29種となった。決して多いといえないが、カメムシ自体、余り種類が多いものではないことから、結構沢山採集できたともいえる。種類数はともかくとして、クロトビサングメ、トゲサングメの2種を得たことは大収穫で

であった。根気よく採集を続けていると、思わぬ珍品に巡り合うものであり、大層元気づけられた。

最後になりましたが、クロトビサシガメ及びトゲサシガメについて、いろいろとご教示いただき、この報告をお奨めいただきました高橋寿郎氏に厚く感謝致します。

〔参考文献〕

- 北隆館発行 原色日本昆虫大図鑑Ⅲ
北隆館発行 日本昆虫図鑑
厚生閣発行 分類原色日本昆虫図鑑

西宮市上ヶ原山田町のトンボ

田 中 稔

私は、きべりはむし第12巻第1号に甲山の東南を流れる上ヶ原用水路のトンボを報告したが、今回は同じ甲山の東南の湿地に発生するトンボについて報告する。湿地は3ヶ所あり、1番上手にA湿地、B湿地、C湿地と続き、農業用の池、たんぼと続く。A湿地は、雑木のまばらな広い湿地で夏には水が完全になくなる。B湿地は、ススキがまばらな小さい湿地で夏でも水が少し残っている。C湿地は、葦が密生する沼で、中に入ると腰までズブズブといくような所で夏でも水は残っている。附近は、私と犬の散歩のコースで最盛期の6・7月には早朝の摂食飛翔、日中の羽化殻採集、夕方の摂食群飛を楽しめる所である。

オグマサナエ *Trigomphus ogumai* ASAHINA

24Ⅳ1983 羽化殻 2 B湿地

水面に浮かんでいたものを発見した。コンクリートの上で、日光浴をするようにとまっているのを見かける。

アオヤンマ *Aeschnophlebia longistigma* SELYS

12Ⅵ1982 羽化殻 ♂2 ♀7 C湿地

13Ⅵ1982 " ♂7 ♀14 "

19Ⅵ1982 " ♂2 "